

SCE-03 RS-232C インタフェース+コンパレータ出力 取扱説明書

1WMPD4002097A

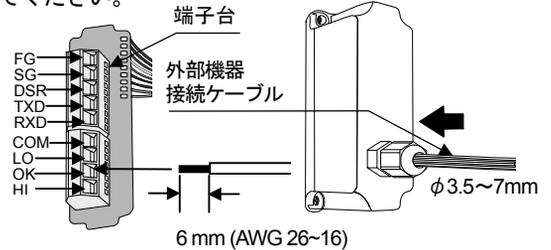
1. 特長

- ・ RS-232C インタフェースを使うと、はかりをコンパクトプリンタ AD-8121 やパーソナル・コンピュータに接続することができます。
- ・ コンパレータ機能を使い、その比較結果 **HI** **OK** **LO** を、リレー出力として取り出すことができます。
注意：SCE-02 と SCE-03 の同時使用はできません。

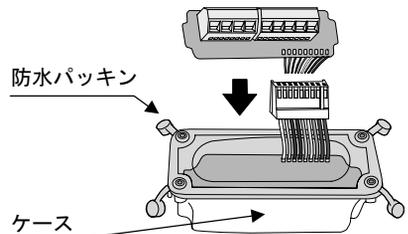
2. 取付方法

注意：本体から電池を外した状態で、以下の作業を行ってください。

手順1 外部機器に接続するためのケーブルを、付属ケースの下側から通してインタフェースボード上の端子台に接続します。



手順2 インタフェースボードを付属のケースにはめます。

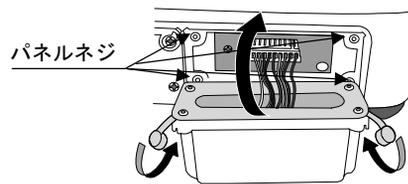


手順3 防水パッキンを付属ケースのネジ穴の位置に合わせます。

手順4 表示器の右側のパネルのネジ（4本）を外します。

手順5 基板の差し込みコネクタと表示器の端子台を接続します。

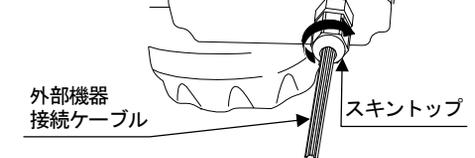
手順6 ケースのネジ（4本）を締めます。



手順7 締めたネジの頭の部分に、飛び出している防水パッキンでふさぎます。



手順8 スキントップを締めます。



・オプションケーブルの接続方法

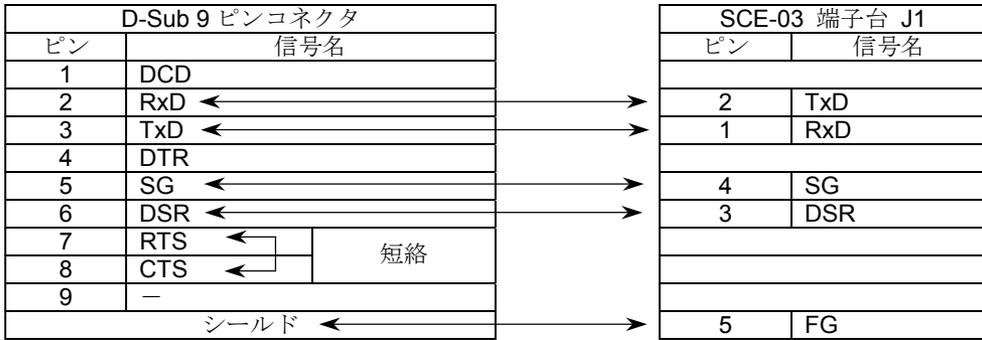
注：ハードウェアフロー制御がある外部機器と接続する場合、RTS と CTS が短絡されていないケーブルを使用すると外部機器との通信が行えない場合があります。

その場合、RTS と CTS の配線を短絡することでハードウェアフロー制御を無効化でき、通信が行えるようになります。

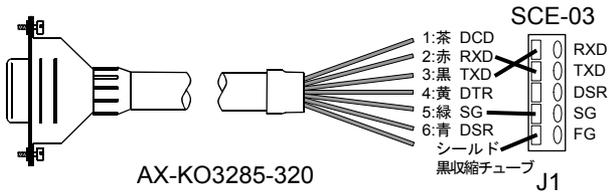
※ RTS と CTS は接続する外部機器のコネクタのピンです。D-sub9 ピンの場合は 7 ピンが RTS で 8 ピンが CTS です。

※ AX-KO3285-320 (別売オプション) はケーブル内で短絡されていますので上記の対応は必要ありません。

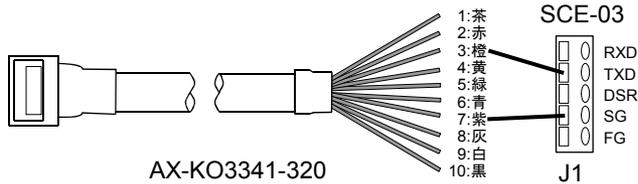
D-Sub 9 ピンコネクタ接続図



- ・別売オプションケーブル PC用ケーブルユニット 3m (AX-KO3285-320)との接続図



- ・別売オプションケーブル AD-8121B 用ケーブルユニット 3m (AX-KO3341-320)との接続図



3. SCE-03 仕様

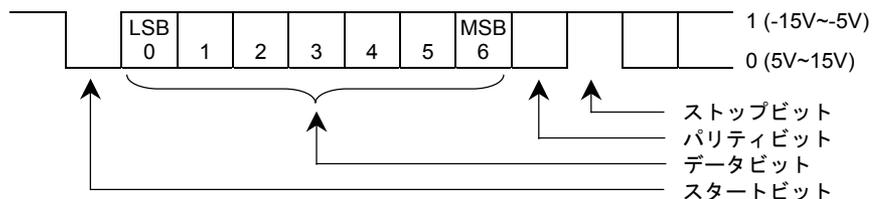
- ・RS-232C 出力モードには、ストリームモード／コマンドモード／プリントスイッチによる出力／オートプリントの4通りがあります（詳細は‘データ出力モード’を参照してください）。
- ・使い方に応じて内部設定‘bPS’、‘Prt’および‘ACK’を設定してください。

3. 1 インタフェース仕様

- ・信号形式

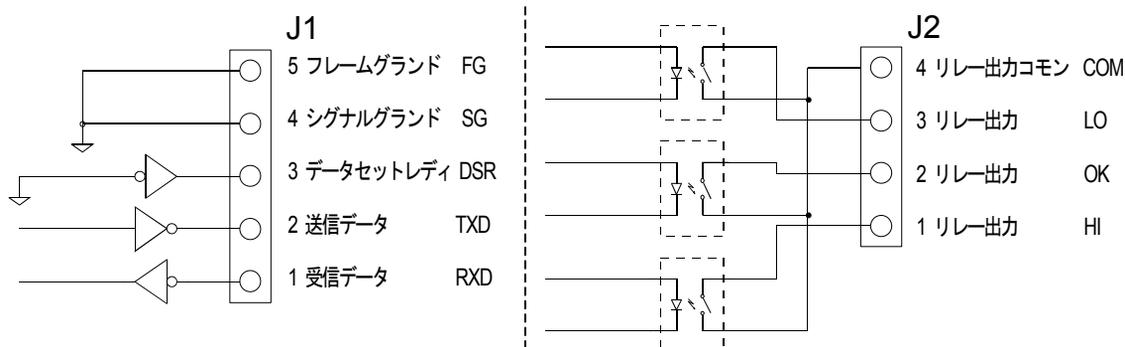
ボーレート:	2400, 4800, 9600 bps
データビット:	7 ビット+パリティ 1 ビット (even)
スタートビット:	1 ビット
ストップビット:	1 ビット
使用コード:	ACII

- ・ターミネータ: C_RL_F (C_R: 0Dh、L_F: 0Ah)

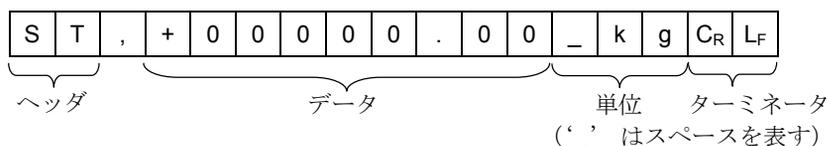


・リレー出力の最大定格:

最大電圧: 50V DC
 最大電流: 100mA DC
 最大オン抵抗: 8Ω



3. 2 データフォーマット



- ・ヘッダには以下の4種類があります:
 - ST: 質量測定でデータが安定している
 - QT: 個数計モードでデータが安定している
 - US: データが安定していない (個数計モード含む)
 - OL: データがオーバーしている (計量範囲を超えている)
- ・データは符号、小数点を含め常に9桁です。
- ・単位には、以下の2種類があります:
 - _kg : 質量データ ‘kg’
 - _PC : 個数データ ‘pcs’
 注意: ‘_’ は空白を表します。
- ・ターミネータは常に C_RL_F が出力されます。
- ・出力データの例:

質量データ ‘kg’	S T , + 0 0 1 2 3 . 4 5 _ k g C _R L _F
個数データ ‘pcs’	Q T , + 0 0 0 1 2 3 4 5 _ P C C _R L _F
質量オーバー ‘kg’ (+)	O L , + 9 9 9 9 9 . 9 9 _ k g C _R L _F
個数オーバー ‘pcs’ (-)	O L , - 9 9 9 9 9 9 9 9 _ P C C _R L _F

3. 3 データ出力モード

- ・ ストリームモード / コマンドモード 内部設定 'Prt 0'

表示値を、表示書き換えに同期して常時出力します。表示書き換えは、1秒に約10回です。なお、各種設定状態では出力は行いません。

- ・ コマンドモードのみ応答 内部設定 'Prt 1'

コマンドによる要求にのみ応答します。詳しくは '3. 4 コマンドモード' をご参照ください。

- ・ プリントスイッチによる出力 / コマンドモード 内部設定 'Prt 2'

計量値が安定しているときに (安定マーク点灯)

プリント

 キーを押すと、データを出力します。

- ・ オートプリント +/- データ / コマンドモード 内部設定 'Prt 3'

計量値が安定し (安定マーク点灯)、その値が+4d を超えるか、または、-4d より小さいときデータを出力します。次の出力は、表示が-4d 以上+4d 以下に戻ってからになります。

d = 質量表示の最小表示 (本体取扱説明書 '仕様一覧' 参照)

個数計モードでも、質量表示での最小表示に従って判定されます。

- ・ オートプリント + データ / コマンドモード 内部設定 'Prt 4'

計量値が安定し (安定マーク点灯)、その値が+4d を超えているときデータを出力します。次の出力は、表示が+4d 以下に戻ってからになります。

d = 質量表示の最小表示 (本体取扱説明書 '仕様一覧' 参照)

個数計モードでも、質量表示での最小表示に従って判定されます。

3. 4 コマンドモード

- ・ コマンドモードでは、コンピュータなどの外部機器からのコマンドによってはかりを制御できます。

コマンド一覧

'Q' コマンド 現在の計量データを要求するコマンドです。

コマンド

Q	C _R	L _F
---	----------------	----------------

応答例

S	T	,	+	0	0	1	2	3	.	4	5	_	k	g	C _R	L _F
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------------	----------------

'Z' コマンド

ゼロ

 キーと同じ動作をします。

コマンド

Z	C _R	L _F
---	----------------	----------------

コマンドに対する応答

内部設定 'ACK 1' が設定されていると、はかりは受け取ったコマンドに対し以下のように応答します。

- ・ はかりが不安定な状態であるなどの原因で、コマンドを実行できなかった場合、'I' (アイ) が返信されます。

応答例

I	C _R	L _F
---	----------------	----------------

- ・ 受信したコマンドが扱えないものだった場合、はかりは '?' を返信します。

応答例

?	C _R	L _F
---	----------------	----------------

- ・ 内部設定 'ACK 0' が設定されているときは、'Q' コマンドを除いて応答はありません。

AND 株式会社 **エーアンドデイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14
(ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 5F)

TEL. 03-5391-6126 FAX. 03-5391-6129